

独立行政法人航空大学校所属シーラス式SR22型JA018Cの  
航空事故調査について  
(経過報告)

令和6年8月29日  
運輸安全委員会(航空部会)

運輸安全委員会は、令和5年9月7日、釧路空港において独立行政法人航空大学校所属シーラス式SR22型JA018Cが着陸時に機体を損傷した航空事故について、令和5年9月から原因を究明するための調査を進めてきたところであるが、これまでの調査で得られた情報をもとに、更に事実の確認や分析を進めるとともに、原因関係者からの意見聴取及び関係国への意見照会を行う必要がある。このため、本件調査については、本航空事故が発生した日から1年以内に調査を終えることが困難であると見込まれる状況にあることから、運輸安全委員会設置法第25条第4項の規定に基づき、以下のとおり当該調査の経過を報告する。

なお、本経過報告の内容については、今後、新たな情報の入手等により、修正されることがあり得る。

また、本調査は、本航空事故に関し、運輸安全委員会設置法及び国際民間航空条約第13附属書に従い、航空事故及び事故に伴い発生した被害の原因を究明し、事故等の防止及び被害の軽減に寄与することを目的として行うものであり、本航空事故の責任を問うために行うものではない。

## 1. 航空事故の概要

独立行政法人航空大学校所属シーラス式SR22型JA018Cは、令和5年9月7日(木)教官である機長ほか訓練生3名の計4名が搭乗し、釧路空港滑走路35に対して発動機故障を模擬した着陸(エンジンをアイドルにした状態で進入する着陸)の訓練を行っていた。同機は、接地直前に過大な機首上げ姿勢となった後に右へ大きく傾いたため、機長が姿勢を立て直すための操作を行ったが、その操作の途中で、自機の正面に航空機を視認したため、これを回避すべく右に急旋回(滑走路に対してほぼ90°変針)し、東北東向きで誘導路に着地した後、そのまま直進し、空港場周柵に衝突して停止した。

本航空事故において、火災の発生はなく、負傷者はいなかった。

## 2. 調査の概要

運輸安全委員会は、令和5年9月7日、「誘導路又は航空機が通常着陸することが想定されない場所への着陸」として航空重大インシデントの通報を受け、本件の調査を担当する主管調査官ほか1名の航空事故調査官を指名した。その後、機体の損傷の程度が大修理に相当することが確認されたため、令和5年9月20日、航空事故への変更の通報を受けた。現時点までに関係者からの口述聴取、飛行記録装置等の記録の解析、並びに飛行訓練及び気象に関する情報収集等を実施した。

本調査には、事故機的设计・製造国であるアメリカ合衆国の代表が参加している。

### 3. 判明している主な事実情報

#### (1) 飛行の経過

独立行政法人航空大学校所属シーラス式SR22型JA018Cは、教官である機長ほか訓練生3名の計4名が搭乗して、空中操作訓練、釧路空港での連続離着陸訓練等を行うため、令和5年9月7日13時17分、帯広空港を離陸した。

同機は、訓練空域において空中操作訓練を実施した後、釧路空港において、通常の連続離着陸を実施した。その後、発動機故障を模擬した着陸の訓練に移行した。同機は、同訓練の3回目の着陸の最終進入において、接地直前に過大な機首上げ姿勢となり、右に大きく傾き始めた。同機は、機体の姿勢を立て直すために機首を下げ、翼を水平に戻す操作を行ったが、正面に同空港のT5誘導路上で離陸を待機していた航空機を視認したため、これとの衝突を回避すべく右に急旋回した。同機は、東北東向きの針路で、T5誘導路とP誘導路が交差する付近に着地した後、P誘導路の東側にある草地を滑走し、14時37分ごろ、空港場周柵に衝突して停止した(図参照)。

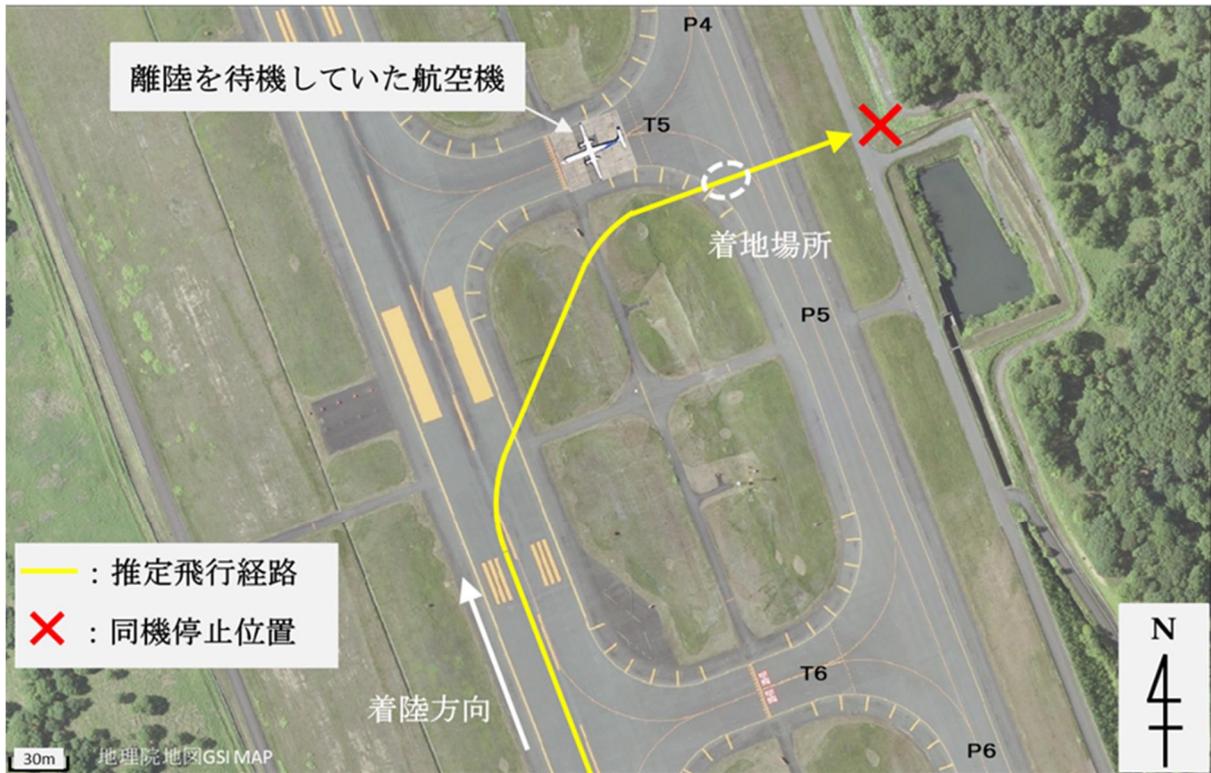


図 推定飛行経路図

#### (2) 死傷者

なし

#### (3) 航空機の損壊

大破

#### (4) 気象

釧路空港の事故関連時間帯の特別飛行場実況気象通報(SPECI)は、以下のとおりであった。

14時40分 風向 020°、風速 12kt、視程 40km以上、  
雲 雲量 FEW<sup>\*1</sup>、雲形 積雲、雲低高度4,000ft、  
雲量 SCT<sup>\*2</sup>、雲形 積雲、雲低高度6,000ft、  
気温 23、露点温度 12、高度計規正值 1,012hPa

#### 4. 今後の調査

本航空事故の原因及び本航空事故に伴い発生した被害の原因の究明並びに事故の再発防止策の検討のため、これまでの調査で得られた情報をもとに、着陸時の状況や当日の訓練の実施状況など、更なる事実確認や分析のほか、原因関係者からの意見聴取及び関係国への意見照会を行う必要がある。

本委員会は、これまでの調査、分析等によって得られた結果を踏まえて、引き続き本航空事故の原因等の調査を進める。

---

\*1 「FEW」とは、雲量1/8～2/8のことをいう。

\*2 「SCT」とは、雲量3/8～4/8のことをいう。